

〈隷書〉

峯煙裏揮毫對青閣  
 花間食賜食近丹墀

清原大龍先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

花間食賜食近丹墀  
 烟裏揮毫對青閣

吉田成美先生書

□ 烟裏毫を揮い青閣に対し、花間食を賜うて丹墀に近く。(錢起)

次号予告「清溪逸屋可濯足 好鳥隔江如喚人」

〈行書〉

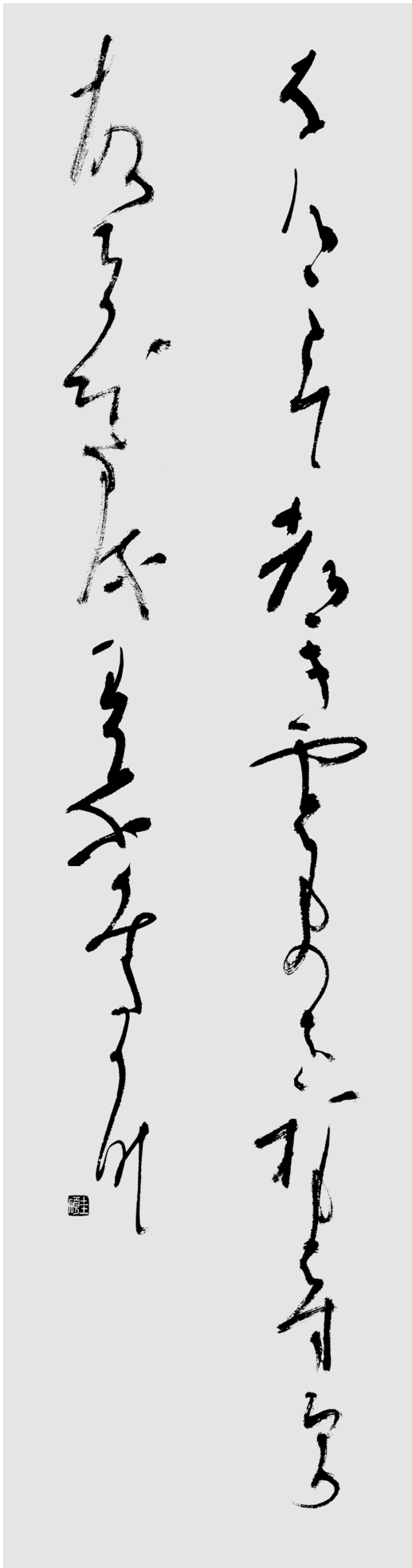


井之上 南岳先生書

▽春がすみのこめる所で筆を執つて青閣に対して書き、花のある所には賜饌しせんありて帝宮の御階に近づく。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾 圭 碩先生書



□ な介なけとて 都つきや者はものを おも者はする 可故かこち可本かほなる 王わか可かなみ多可たかな那

なけけとて 月やは物を 思はする かこち顔なる わか涙かな

△百人一首八十六△

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点のみとする）

小 畠 秋 聲 先 生 臨

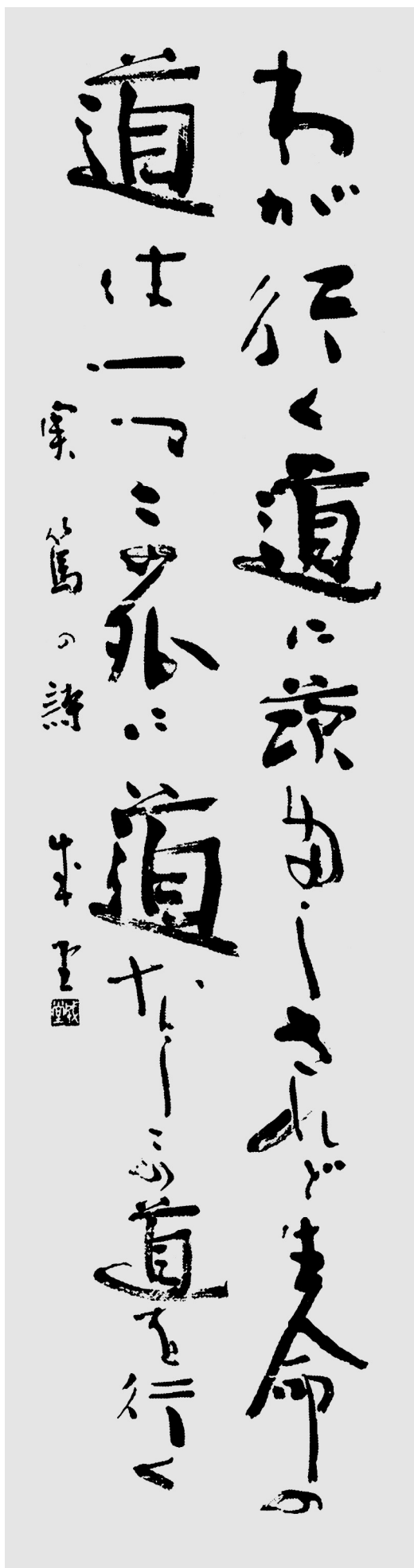


▽ 集字聖教序

像顯可微雖愚不惑形潛莫覩在智猶迷

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする）

吉 田 成 堂 先 生 書



□ 武者小路実篤の詩 わが行く道に茨多し されど生命の道は一つ この外に道なしこの道を行く

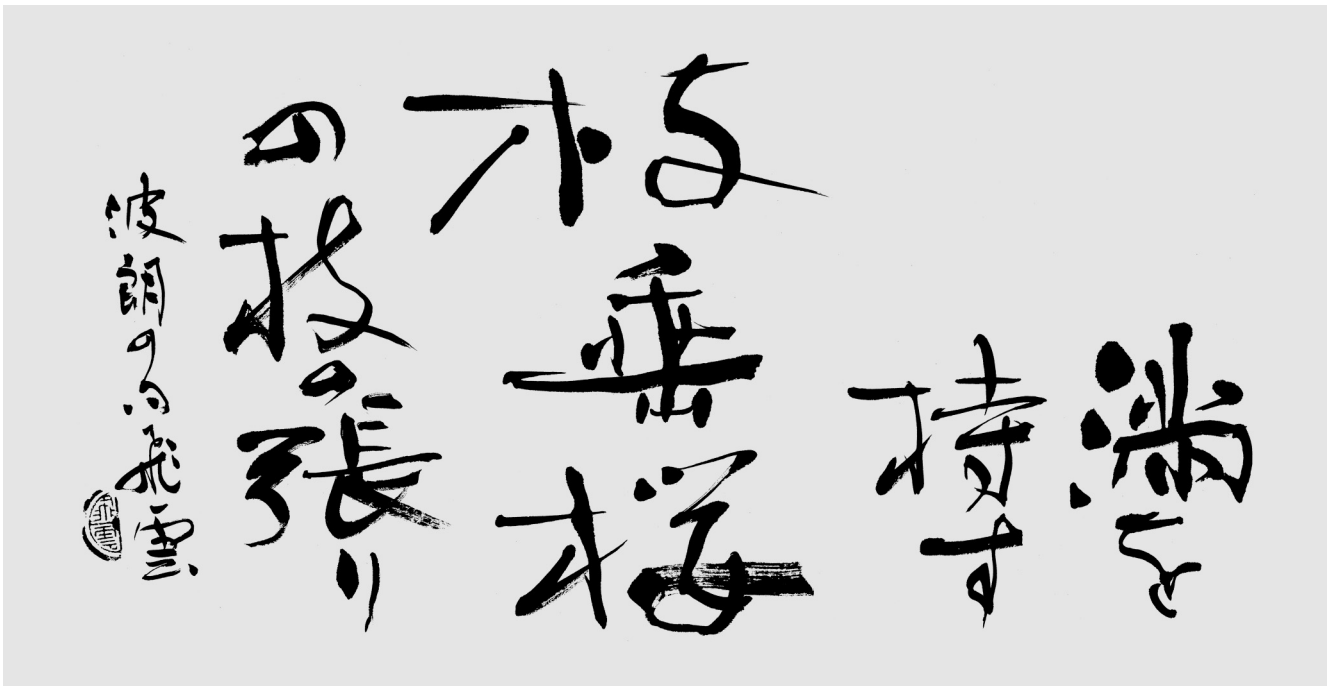
△ 手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課題ごとに横断一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） — 4月28日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

△手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。▽



山本飛雲先生書

□ 棚山波朗の句

満を持す  
枝垂桜の  
枝の張り  
俳句は鑑賞する人の感性によつて如何様にも想像を膨らますことが可能です。いろいろな作品構成にチャレンジしてみてください。



渡邊大嶽先生書

□ 空也

苦しみやこだわりの実態は存在しない。  
古隸（開通褒斜道刻石・石門頌）を意識してゆつたりと息の長い線を引いてみました。古典からいろいろな書風に挑戦してみてください。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横の出品票は作品の左下に貼って提出下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 荒を包ね馮河を用う（「易経」泰卦）  
荒遠の地の民をも広く愛する寛大さを持ち、河を徒歩で渡るような勇気ある決断力を持つ。

次号予告「浪搖千臉笑」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



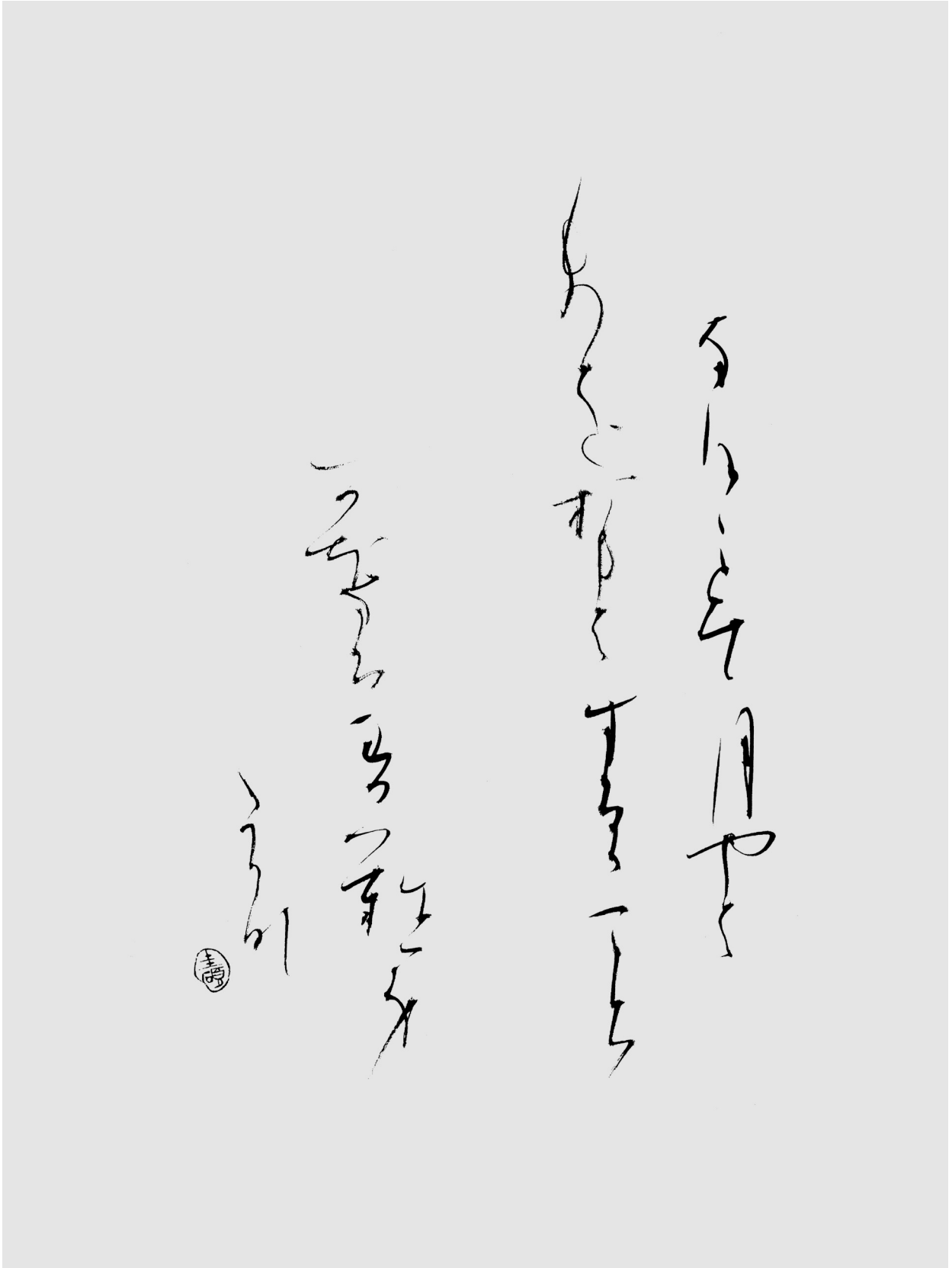
□ 荒を包ね馮河を用う（「易経」泰卦）  
荒遠の地の民をも広く愛する寛大さを持ち、河を徒歩で渡るような勇気ある決断力を持つ。

次号予告「浪搖千臉笑」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

なけけとて 月やは物を 思はする かこち顔なる わか涙かな



△仮名▽  
な<sup>け</sup>けとて 月<sup>は</sup>者<sup>は</sup>もの<sup>を</sup> おも<sup>は</sup>者<sup>は</sup>する 可<sup>か</sup>こち<sup>か</sup>可<sup>ほ</sup>本<sup>は</sup>なる 王<sup>わ</sup>可<sup>か</sup>難<sup>な</sup>身<sup>み</sup>多<sup>た</sup>可<sup>か</sup>那<sup>な</sup>

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

「春の祈り」 銀色夏生の詩 さっぱりとした いさぎよさの 毎日はじまる



※ 出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

大竹美喜先生書



(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



□ 舒<sup>じよ</sup> 栄<sup>えい</sup> (唐・韋応物「景扇」  
のびのびと栄える。

次号予告「致 思」

吉田成美先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）



△臨書▽  
形だけに拘とらわれないで、行書の流れを意識して書きましょう。

「況乎佛道崇虚」

大坪桂子先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

姓 号	穀雨	木蓮	清明	卯月
	春土用	花冷え	スミレ	花祭り
	昭和の日	寒の戻り	菜種梅雨	エイプリルフル

△実用書▽

卯月<sup>うづき</sup> 花祭り エイプリルフル 清明 スミレ 菜種梅雨<sup>ななねづゆ</sup>  
 木蓮 花冷え 寒の戻り 穀雨<sup>こくう</sup> 春土用 昭和の日

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

誕生日に届いた真つ赤なチューリップ  
がいま満開です部屋に飾ったのは  
久し振りですが心が潤うものですね  
忙しくても花を眺める余裕を持ちたい  
と肝に銘じましたありがとう 修一

△手紙文▽

誕生日に届いた真つ赤なチューリップが いま満開です 部屋に飾ったのは久し振りですが 心が潤うものですね 忙しくても花を眺める余裕を持ちたいと 肝に銘じました ありがとう 修一

伊良子 喜代 先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

# 書譜

〈暮らしに役立つ書〉

之前略

先日は、数々のおもてなし、誠にありがとうございました。ござつきました。どれをとっても、まさに美味の一語に尽きました。ご家族はお幸せですね。

そこで、私も「料理の基本」をど伝授いたがけませんでしょうか。夫の希望でもあり、突然のお願いをお許し下さい。

後ほどお電話させていたゞきたく、取り急ぎい  
お願いを申しあげます。

草々

野のある便箋に書いてみよう。

〈26 cm × 18 cm〉

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書





今月のかきかたドリル

(形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	小学6年	小学5年	小学4年	小学3年	小学2年	小学1年	ようねん
極	身	祭	通	店	竹	元	丈
極	身	祭	通	店	竹	元	丈

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

虫かかご

小学4年

ねん土

小学3年

つくし

小学2年

たい

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

調和を保つ

中学2・3年

丸い地球

中学1年

光る湖水

小学6年

よもぎの葉

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼ || 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17.5cm ▽



□「ハライ」と「トメ」のちがいにきをつけて、げんきよくのびやかにかきましょう。



小学二年

次号予告「かぶと」

□ふでのもちかたやしせいにきをつけて、うでをおおきうごかしてかきましょう。



ようねん・小学一年

次号予告「もり」

坂元紫香先生書

□字形は、や、縦長に保ち、二画目の転折、六画目の点は力強く、立体感のある作品にしよう。



小学四年

次号予告「大地」

□横画の方向の違いと、縦画の位置に気をつけて、伸びやかに元氣よく書こう。



小学三年

次号予告「日」

吉田成美先生書

小学五年



次号予告「道」

□ 平仮名と漢字の大きさをバランスに気をつけて、伸び伸びと書きましょう。

小学六年

次号予告「働く」



□ 二文字とも、たて面をしっかりとるために書き、文字の中心にも注意しましょう。

秋永春霞先生書

中学一年

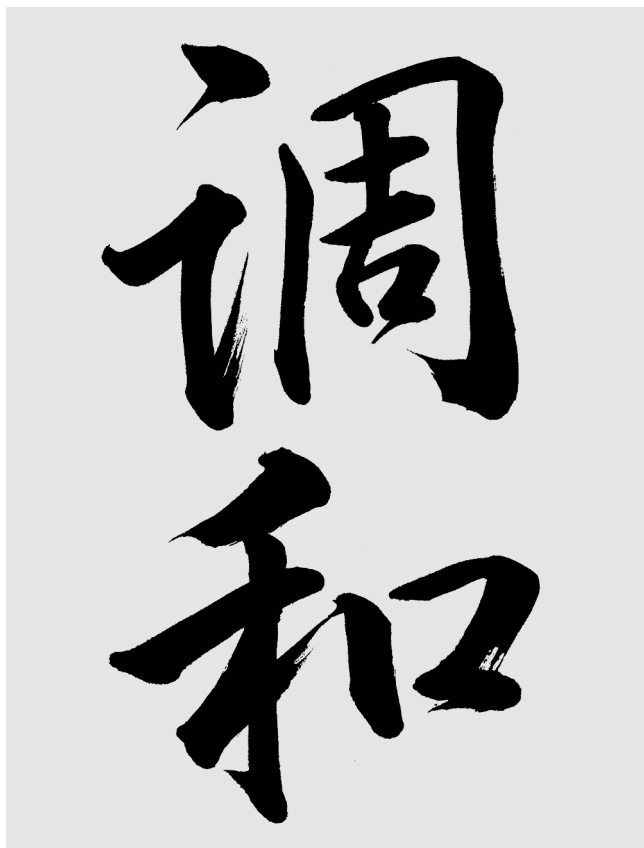


次号予告「探究」

□ 漢字を構成する点画の種類を確かめながら、楷書の筆使いを意識して伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「紅葉」(行書)



□ 行書の点画の省略を理解し、省略のしかたを意識して、名前も行書でチャレンジしよう。

吉田成美先生書



「上」は「上」のよみかたより少し低い  
 「戸」は「戸」のよみかたより少し低い  
 「門」は「門」のよみかたより少し低い  
 「開」は「開」のよみかたより少し低い

「目」は「目」のよみかたより少し低い  
 「見」は「見」のよみかたより少し低い

段 級	
氏 名	
まはるがお店を開	
きました。えりすけいの	
木を見つけてきてから	
ばいばいしてました。	

小学三年

「とめる」は「とめる」のよみかたより少し低い  
 「竹」は「竹」のよみかたより少し低い  
 「雪」は「雪」のよみかたより少し低い  
 「水」は「水」のよみかたより少し低い

段 級						
氏 名						
竹	や	が	ゆ	れ	る	。
ゆ	れ	る	お	と	る	。
雪	が	と	け	る	と	
け	る	水	に	な	る	。

小学二年



小学六年

黄身 <small>ワウシ</small> がくずれてゐるからお父さ	
んが作 <small>ツク</small> つてくれたのだらう。朝は	
時間 <small>トキ</small> がなさんだからおかげなん	
か作 <small>ツク</small> らなくてもいいのに。目玉焼	
きぐらいぼくはもう作 <small>ツク</small> れるのに。	
段級	
氏名	

①おでこにせんにつける  
②はねる  
③はねる  
④開をあける  
⑤火 焼 焼 焼 焼

封筒 <small>フウジュウ</small> からは写真 <small>シヤシヤ</small> が二枚出てきた。	
一枚は人間の倍 <small>トビ</small> くらいあるのか	
いナアスの写真 <small>シヤシヤ</small> 。もう一枚は北極	
の海 <small>ウミ</small> に浮か <small>ウカ</small> が <small>ガ</small> 見た者 <small>ミタモノ</small> を幸 <small>ラキ</small> せにする	
という氷 <small>ヒョウ</small> の惑星 <small>ワツクシ</small> の写真 <small>シヤシヤ</small> だった。	
段級	
氏名	

⑥は「かくで書く」  
⑦はねる  
⑧はねる  
⑨一画で書く  
⑩はねる  
⑪木 柄 柄 極 極  
⑫可 可 或 或 惑 惑